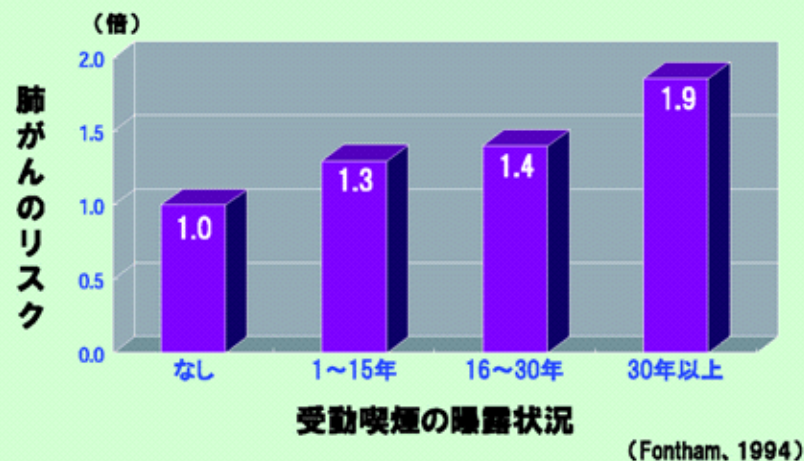


職場の受動喫煙と肺がんのリスク



© 厚生労働科学・中村 2002

職場の受動喫煙と肺がんのリスク

- 働く人にとって職場は、1日の約3分の1の時間を過ごす場所であり、職場環境を良好に保つことが働く人の健康にとって不可欠であることは言うまでもない。
- 1994年にアメリカで発表された研究によると、職場で受動喫煙にさらされる期間が長いほど、肺がんのリスクが高くなることが報告されている。
- 職場で30年以上受動喫煙にさらされると、肺がんのリスクが受動喫煙にさらされない場合に比べて1.9倍高まる。
- このほか、職場で長年受動喫煙にさらされると、呼吸機能が低下することや心筋梗塞のリスクが高まることが報告されている。